

見て、知って、誰かに話したくなるコミュニティ情報紙

FUTABANOWA

ふたばのわ

Vol.150
2026.4.15



| | |
|----------------------------------|-----|
| 3.11双葉町 | |
| ありがとうメッセージ朗読会 | P.2 |
| 震災から15年 それぞれの想い | P.3 |
| MEMEGURU FUTABA (めめぐるふたば) | |
| 双葉駅東地区商業施設 オープン | P.4 |
| 「ふたばのわ」休刊のお知らせ | P.4 |
| 町内の放射線モニタリング情報 | P.4 |

今月の表紙

今月の表紙は、3月11日に「東日本大震災・原子力災害伝承館」で開催されたキャンドルナイトで撮影された1枚です。

会場には、それぞれの想いが書かれたキャンドルが並び、優しい光を灯しました。



千葉 一伸さん

昨年参加した際に、これから双葉町に新しい施設が建っていくというお話を聞き、建設途中の様子も見ていました。今年、イオンをはじめとした商業施設や飲食店が完成し、町の中で買い物や食事ができる環境が整ってきていることを実感しました。この先、双葉駅から産業交流センターまでの道のりがたくさんのお店でつながり、人の行き交う風景が広がっていくことを楽しみにしています。



3.11双葉町ありがとう メッセージ朗読会

3月11日、双葉町産業交流センター1階エントランスにて、「3.11双葉町ありがとうメッセージ朗読会」を開催しました。今年で4回目となる本朗読会では、町民が震災当時の支援への感謝を綴った「ありがとうメッセージ」を、3人の声優が朗読しました。当日は、午前と午後の二部構成で実施され、1日を通して約180人が来場しました。一つひとつの言葉に想いを込めて読み上げられるメッセージに、来場者は真剣に耳を傾けていました。

震災から15年を迎えた今、双葉町の現状と、これまでいただいた支援への感謝について改めて想いを寄せる場となりました。また、本朗読会をきっかけに他県から足を運んでくださった方もおり、双葉町を知っていただく機会にもなりました。



中村 繪里子さん

昨年に続いて参加させていただき、今年もお会いできた方がいて嬉しく思いました。前回は建設途中であった商業施設や海沿いの風景など、実際の景色や音、海風などから、1年間の双葉町のさまざまな変化を全身で感じる事ができました。「ありがとう」の想いを届けるお手伝いを通して、双葉町の人の温かさを大切に伝えていきたいです。



中村 繪里子さん (中央)



千葉 一伸さん



会場の様子



間島 淳司さん

今回初めて参加させていただきましたが、朗読会のような場は、必ず誰かの存在があり、人とのご縁がつながることによって形になっていくのだと感じています。このようなご縁に、心より感謝しております。今後またお声がけいただける際には、その期待に応えられるよう、人としても地道に努力を重ね、少しでも復興につながる事ができれば嬉しいです。



司会を務めた 前川 綾香さん



間島 淳司さん (右)

東日本大震災 双葉町追悼献花

3月11日、双葉町産業交流センター大会議室にて、東日本大震災双葉町追悼献花場が設けられました。会場には町民をはじめ、多くの方が訪れ、献花台に花を手向けながら静かに祈りを捧げました。

地震発生時刻の午後2時46分になると、哀悼の意を込めて1分間の黙祷が捧げられました。



震災から15年 それぞれの想い

東日本大震災から15年の月日が流れた今、双葉町民の皆さんに現在の想いを伺いました。

これまで歩んできた道のりや、これからへの想い。その一部をご紹介します。



現在は、双葉町でスポーツに関わる仕事をしています。スポーツを通して、若い世代が双葉町で頑張っている姿を届けていけたら嬉しいです。



高野 陽奈さん
(三字地区)

昨年、高校を卒業し、双葉町で就職しました。こうして町に戻り、再び関わることができていることをとてもありがたく思っています。



15年経った今は、たくさんの仲間ができました。同じ境遇の中で、同じ目的に向かつて活動する仲間がいることはとても心強く、やりがいや楽しみを感じさせてくれます。そうした仲間たちに出会うことができ、支えられていることに、改めて感謝しています。



河野 弘幸さん
(長塚二地区)

震災後は、多くの人に支えられ助けられてきました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



これからは、この町で子どもたちをしっかりと育てていきたいです。双葉の子どもたちがのびのびと育ち、この町が子どもたちにとって大切な場所になっていくことを願っています。



綾部 優希さん
(県外からの移住)

震災後の双葉町に来て、本当によかったです感じています。双葉で様々な方と出会い、その温かさにも助けられました。

め め ぐ る ふ た ば
MEMEGURU FUTABA
双葉駅東地区商業施設 オープン



3月14日、双葉駅東地区に新たな商業施設「MEMEGURU FUTABA（めめぐるふたば）」がオープンしました。名称は町内3カ所すべてが投票できる場を設け、もともと投票が多かった名称で、オープニングセレモニー内で伊澤史朗町長より発表されました。「町内に新たな芽がでる」や「町内を巡る」などの意味が込められています。

施設には、鉄板焼きなどを楽しめる「串と鉄板だるま」、浪江町で親しまれてきた「居酒屋こんどこそ 双葉店」、北海道の食材も味わえる「CAFE FUTABA」の3店舗が入居しました。全店21時まで営業しており、駅前の夜の時間帯にも新たなにぎわいを生み出します。

オープン初日は、多くの来場者で活気に包まれました。駅東地区の再生に向け、新たな一歩を刻む拠点として期待が広がっています。



「串と鉄板 だるま」
運営会社：株式会社fatマネジメント
代表取締役
石黒 博史さん

「コロナ前に双葉町を訪れた際、「これから町ができていく」という力強い印象を持ちました。自分のできることで力になりたい」と思い、この度、双葉町で出店を決めました。
サービス業として、お客様に笑顔を届け、日常の安らぎを感じていただける場所にした。そして、町の新たなにぎわいを生み出せるようなお店にしていきたいと考えています。



若鶏鉄板ステーキ定食

串と鉄板 だるま



北海道ソフトクリーム

CAFE FUTABA



刺身定食

居酒屋こんどこそ 双葉店

「ふたばのわ」休刊のお知らせ

日ごろよりふたばのわをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
このたび、ふたばのわは本号（第150号）をもちまして休刊することとなりました。
これまでのご愛読とご支援に、心より感謝申し上げます。

町内の放射線モニタリング情報

町内の放射線モニタリング情報は右のQRコードよりご確認ください。
測定値は随時更新中です。

詳細はこちらから
ご覧ください。➡

